ＪＡバンクの地域密着型金融の取組みについて

平成 22 年 10 月

ＪＡバンク

JA バンク（JA、都道府県信用農業協同組合連合会、農林中央金庫）では、農業と地域社会に貢献するため、JA バンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取組んでまいりました。
最近の地域密着型金融の取組事例について、本年４月２日にご報告いたしましたが、今般あらたに取りまとめましたので、ご報告いたします。

今回ご報告する事例の概要

A　農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JA バンクの農業メインバンク機能強化への取組み）

１　農業融資の円滑な取組み

（1）　農業者支援特別融資の創設（千葉県）JA 千葉みらい
（概要）地域農業をリードする農家の育成に必要な資金を低利で融資し、農業生産の振興と農家所得の向上を図り、地域農業の発展に寄与しました。

（2）　担い手応援営農資金の開発（兵庫県）JA たじま
（概要）農業資材の価格高騰等を受け、担い手農業者、認定農業者、米出荷農家等の営農を支援するため、営農資金店頭表示金利から最大 1.0%の金利軽減を行いました。

（3）　「担い手　融資」（広島県）JA 芸南
（概要）新たに資金を創設し、担い手の資金ニーズに十分に応えることにより、担い手の農業への積極的な取組み、生産技術の改善・生活向上の後押しを目指しました。

（4）　園芸作物拡大に係る担い手等金融支援（福岡県）JA 福岡豊築
（概要）意欲的な農業の担い手および新規作付農業者に対して、初期投資で負担がかかる耐久資材を対象に、利子助成を行うことで農業経営を金融面から支援しました。

（5）　佐賀県口蹄疫対策緊急支援資金の創設（佐賀県）JA バンク佐賀
（概要）家畜市場の閉鎖等により子牛・子豚の出荷ができない畜産農家を支援するため、県が創設した短期の運転資金「佐賀県口蹄疫対策緊急支援資金」を取り扱いました。

（6）　農家の小口資金ニーズに対応するための新資金の創設（沖縄県）JA おきなわ
（概要）農産物代金入金までの間に発生する小口資金ニーズに、機動的かつ迅速に対応することを目的として、『農家経営小口資金』（愛称：アグリま～る）を創設しました。

２　６次産業化に向けた農商工連携の推進

（1）　とくしま経済飛躍ファンド（農商工連携枠）（徳島県）JA 徳島県信連
（概要）とくしま経済飛躍ファンドの運営主体である「(財)徳島産業振興機構」に対し、無利子融資を行いました。

（2）　かがわ農商工連携ファンド（香川県）JA 香川県信連
（概要）かがわ農商工連携ファンドを管理している「? かがわ産業支援財団」へ、低利貸付を行いました。

B　担い手のライフサイクルに応じた支援

１　新規就農者の支援

(1)　新規就農者研修牧場（北海道）JA サロマ
（概要）地域新規就農者のための研修農場として平成 20 年に（株）ドリームファームを立ち上げました。

2　講演会・セミナーの開催

(1)　「第３回 農業法人経営者セミナー」（新潟県）JA 新潟県信連
（概要）農業専門金融機関として、農業法人の一層の発展に貢献すること等を目的に当該セミナーを開催しました。

C　農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

1　災害などの被災者への支援

(1)　最近（近年）石油高騰の影響により生産資材の著しい高騰から営農に支障をきたした専業農家への緊急対策資金の対応（群馬県）JA 甘楽富岡
（概要）購買未収金の大口取引先に対して証書貸付化を図り、償還を円滑にするため、低金利の資金を融通しました。

(2)　H21 経営緊急対策資金の創設（長崎県）JA 長崎せいひ
（概要）担い手等組合員農家の農業経営安定に向けた、農家支援特別対策事業の一環として、低利の資金での融資対応を実施しました。

2　JA バンク食農教育応援事業の展開

(1)　「ちゃぐりんキッズクラブ」（滋賀県）JA 東びわこ
（概要）次世代を担う子供たちに、JA と地域が一体となり、人権・環境を考え学び、食のあり方・農のあり方を伝えていくことを目的に、「ちゃぐりんキッズクラブ」の活動を展開しました。

(2)　「キッズくらぶ」の取組み（奈良県）JA ならけん
（概要）次世代を担う小学生を対象に農業、スポーツ、食育などをテーマに、楽しい体験イベントを開催、JA と親しみながら JA を理解してもらう環境づくりを目指して活動しました。

D　その他

1　地域貢献・社会に根ざした商品提供

(1)　子育て応援定期積金（千葉県）JA バンク千葉
（概要）少子化が進展するなかで、地域の子育て世帯を金融面から支援し、地域貢献を図ることを目的として、子育て応援定期積金の取扱いを行いました。

(2)　「ほほえみ」定期積金（長野県）JA みなみ信州
（概要）お互いに地域発展を願う各種お店と JA が提携を結びました。その提携加盟店では、定期積金契約期間中は何回でも割引・優待サービスが受けられます。

(3)　平成 21 年度秋冬キャンペーン（長野県）長野県 JA バンク
（概要）「地産地消」や「地域に根ざした JA バンク」をテーマに、長野県内の農畜産物を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow 風土」（スローフード）を発売しました。

(4)　子育て支援の取組み（JA あすなろ積金）（富山県）JA くろべ
（概要）地域に根ざした金融機関として、地域の将来を担う若い世代の子育てを応援したいとの想いから、取扱いを開始しました。

(5)　子育て支援の取組み（学資定期積金）（富山県）JA くろしん
（概要）地域に根ざした金融機関として、地域の若年層とのつながりを深め、金銭的な負担の大きい若年層の子育てを金融面からサポートする目的で、取扱いを開始しました。

(6)　年金指定者等に対する民宿等利用券提供（富山県）JA 氷見市
（概要）地域に根ざした金融機関として、定年退職や年金受給を迎えた方々に、元気に第 2 の人生をスタートしていただくことを目的とし、取扱いを開始しました。

(7)　エコ対応利子助成（エコ割）（香川県）JA バンク香川
（概要）住宅版エコポイント制度の対象となる JA 住宅ローン等の借入申込について、金利を軽減するための利子助成を行いました。

本件に関するお問い合わせ
農林中央金庫　農林水産環境統括部
TEL：03-5220-9637
お問合せ時間:平日（月～金）9:00～17:00
※祝祭日は除きます

タイトル　農業者支援特別融資の創設

ＪＡ名　ＪＡ千葉みらい（千葉県）

1　動機（経緯）	当組合では，地域農業をリードする農家の育成に必要な資金を低利で融資し，農業生産の振興と農家所得の向上を図ろうと考えました。 そして，貸出対象者をＪＡ千葉みらいが定める担い手選定基準に該当する者及びファーマーズマーケット出荷登録者として，地域農業の発展に寄与しようとしております。
2　概要	貸出限度額　１，０００万円以内（但し，見積金額以内。） 貸出利率　固定金利０．９％ 貸出期間　１５年以内 資金使途　農産物生産・加工・出荷に必要な資金(設備資金) 担保・保証　原則として，千葉県農業信用基金協会保証。 必要に応じ，担保･保証人をお願いする場合があります。
3　成果（効果）	平成１９年５月より募集を開始し，各支店の渉外及び担い手担当による推進活動，各部会での紹介，ホームページへの掲載などにより，募集活動を展開し，平成１９年度は１４件・６２百万円，平成２０年度は２９件４８百万円，平成２１年度は３０件・７０百万円の貸出実績がありました。
4　今後の予定（課題）	引き続き募集を続け，より多くの方にご利用いただきたいと考えております。

ＪＡ千葉みらい特別企画

農業者支援特別融資のご案内

ご融資金額　1,000万円以内

ご融資期間　6ヶ月以上15年以内

お使いみち　農産物生産・加工・出荷に必要なもの

金利タイプ　固定金利型

お借入利率　0.90%

担　　保　原則として不要です

保 証 人　原則として不要です

ＪＡ所定の保証機関の保証をご利用いただき、別途、保証料がかかります。

●ご利用いただける方

・ＪＡ千葉みらいの担い手に登録されている方、今後登録される方

・しょいか～ご出荷登録者の方

・借入時年齢満１８歳以上、最終償還時７１歳未満の方

●ご用意いただく書類

・年収を確認できる書類（確定申告書等）

・健康保険証　・運転免許証

・住民票謄本　・固定資産課税明細書等

・不動産登記簿謄本　・見積書（売買契約書）等

＝＝＝＝＝＝＝＝くわしくは、各店預金口へお問い合わせください。＝＝＝＝＝＝＝＝

JA千葉みらい

本　店	☎043－203－0160	豊科支店	☎043－239－0035
物井支店	☎043－259－2050	白井支店	☎043－228－0202
幕張支店	☎043－273－7614	中央支店	☎043－232－0821
生浜支店	☎043－265－7100	千城支店	☎043－265－5556
椎名支店	☎043－292－0518	土気支店	☎043－294－1191
誉田支店	☎043－291－0131	習志野支店	☎047－454－0191

タイトル　担い手応援営農資金の開発

ＪＡ名　ＪＡたじま（兵庫県）

１．動機（経緯）	ＪＡたじまの担い手支援対策の一環として，資金供給面でのサポートを行う目的で平成 20 年度から取扱を開始した低利融資制度です。 農業資材の価格高騰等を受け，担い手農業者，認定農業者，米出荷農家等の営農を支援するため，営農資金店頭表示金利から最大 1.00% 注)の金利軽減を行っています。 融資担当者の外，営農(ＴＡＣ)職員，農機センター職員を集め当資金の研修会を開催したほか，管内の資金需要について情報交換会・統括部毎の意見交換会を実施し，農家への効率的な浸透を図っています。 （注）最大 1.00%の軽減幅については，金利情勢によって毎月変動
２．概要	名称：ＪＡたじま　担い手応援営農資金 貸出対象者：正組合員である個人 農業を営む組合員である法人，正組合員が主たる構成員である団体 ※　金利軽減の対象者 個人…各種生産部会員もしくはＪＡたじまに産米出荷を概ね 100 袋以上されている方 法人・団体…集落営農組合等の法人・団体 資金使途：農業用機械機具の取得，設備の導入，農業用資材購入，農用地等の取得ならびに改良・造成，その他農業経営上必要な資金等幅広い資金需要に対応。 融資限度額：個人 2,000 万円以内，団体 5,000 万円以内 融資期間：15 年以内(資金使途により異なります。) 金　　利：固定金利
３．効果	利用者からは「低利で資金調達出来る」等好評をいただいているほか，融資担当者，営農(ＴＡＣ)職員，農機センター職員共同の研修，意見交換会が当資金の農家への浸透に効果的であったことから，今後のＪＡ内事業間連携の取組みに繋げたいと考えています。
４．今後の課題	担い手農業者等の訪問について，営農部門職員（ＴＡＣ）や支店融資担当職員による定期訪問を実施し，財務状況や資金ニーズを肌で感じ取ることにより，ＪＡとしてタイムリーな資金対応を打ち出すことのできる取組みを強化していくことが今後の課題として考えています。

タイトル　「担い手　融資」

ＪＡ名　ＪＡ芸南（広島県）

1　動機（経緯）	既往農業資金では資金使途・限度額等の制限により，担い手の資金ニーズに十分対応しきれていないことから，ＪＡ独自にて新たに資金を創設し，担い手の農業への積極的な取組み，生産技術の改善・生活向上の後押しを目指したもの。
2　概要	融資対象者：ＪＡ芸南青壮年連盟に加盟している組合員 資金使途：農業関連資金であること 融資限度額：一組合員に対する貸出限度額の範囲内，ただし保証人貸出の場合は３百万円を限度としています。 保証人・担保：保証人は原則２名以上の連帯保証とし，不動産に担保設定いただく場合には，原則第一順位の抵当権又は根抵当権を当該不動産に設定いただいています。 建物については火災共済（保険）に加入いただき，その共済（保険）金請求権に原則として第一順位の質権を設定いただきます。
3　成果（効果）	平成２２年４月に資金を創設したばかりで実績はまだありません。
4　今後の予定（課題）	当ＪＡは今年度より，購買・営農指導を含めた総合的な推進活動を行う総合推進室を新設。組合員・地域利用者とＪＡとの架け橋となるべく活動を行っています。 当ＪＡでは，組合員全戸訪問にも取り組んでいます。今後，信用事業担当職員と総合推進室職員の情報共有化を通じて，組合員に対する本資金を含めた農業融資資金の利用推進に取り組んでまいります。

タイトル　園芸作物拡大に係る担い手等金融支援

ＪＡ名　ＪＡ福岡豊築（福岡県）

１　動機（経緯）	管内の園芸主要作物生産者からの要望により，営農部門の行動計画として農業所得の向上，新規就農者拡大に関する取組みをしており，作付面積の拡大にあたり，意欲的に農業を行う担い手および新規作付農業者に対して，初期投資で負担のかかる耐久資材を対象に，利子助成を行うことで農業経営を金融面から支援することとしております。
２　概要	・ 主要作物：レタス，イチゴ，イチヂク，スイートコーン ・ 資金使途：ＪＡから購入する耐久資材 ・ 貸出金額：５０万円以上５００万円未満の貸付 ・ 対象期間：平成２０年８月から２２年３月までに貸付実行したもの。 期間５年以上の貸付について当初２年間，７年以上の貸付について当初３年間利子全額を助成。（他に利子助成あるものについては，残利息について助成。）
３　成果（効果）	・ 平成２０年度：新規作付（イチヂク）３件について，貸付金額５２５万円 ・ 平成２１年度：新規作付（イチヂク）２件について，貸付金額２６６万円
４　今後の予定（課題）	営農部門との連携をはかり，管内農業の発展のため，金融面で必要な支援に取り組んでまいります。

タイトル　佐賀県口蹄疫対策緊急支援資金の創設

ＪＡ名　ＪＡバンク佐賀（佐賀県）

1　動機（経緯）	宮崎県の口蹄疫の発生に伴い，家畜市場の閉鎖等により子牛・子豚の出荷ができない畜産農家を支援するため，県が短期の運転資金を融通する「佐賀県口蹄疫対策緊急支援資金」を創設しました。 これに伴い，県が佐賀県農業近代化資金取扱要領第４条第１項第８号に，知事特認資金として本資金を定めたことを受けて，ＪＡグループ佐賀でも取扱を開始し，畜産農家の経営維持・安定を図っています。
2　概要	①資金使途：家畜市場閉鎖中における畜産経営の維持・安定に必要な運転資金 ②取扱期間：平成 22 年 6 月 14 日～家畜市場が再開された日の月末まで ③基準金利：２．８５％【債務者負担 0%，県利子補給 2.85%】 ④償還期限：平成 22 年 10 月 29 日まで ⑤貸付限度：個人及び法人ともに１経営体当たり総額 500 万円以下 ⑥担保・保証：無担保・無保証（必要により基金協会の債務保証）
3　成果（効果）	平成 22 年 6 月末時点で実績はありません。
4　今後の予定（課題）	県内の畜産農家に限定した入札方式によるセリが開始されているため，現時点では新たな対策等は検討しておりませんが，今後状況に応じて必要な対策について検討してまいります。

タイトル　農家の小口資金ニーズに対応するための新資金の創設

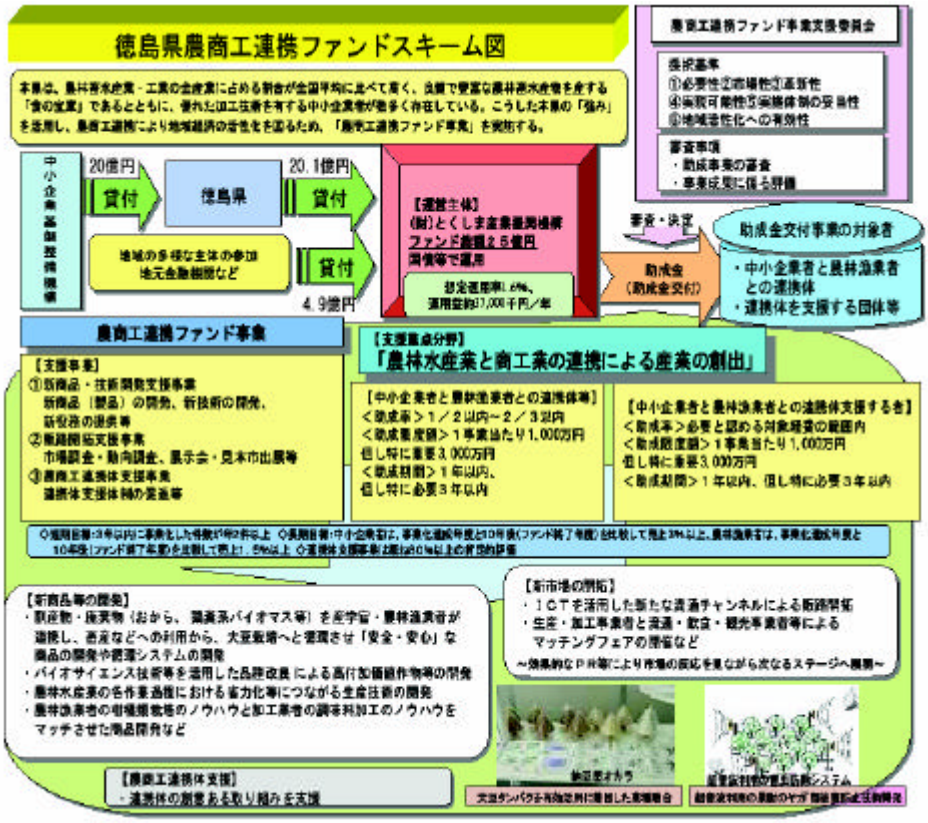
ＪＡ名　　ＪＡおきなわ（沖縄県）

1　動機（経緯）	・ＪＡおきなわでは，平成 20 年度に『肥料・飼料価格高騰に対する農家経営支援対策基本方針』を策定し，その中で小口農業資金貸付制度の創設について取り組むこととしました。 ・これを受け，農家の農産物代金入金までの間に発生する小口資金ニーズ（種苗購入費，生活費等）に，機動的かつ迅速に対応することを目的として，平成 21 年８月に『農家経営小口資金』（愛称：アグリま～る）を創設しました。
2　概要	【資 金 名】農家経営小口資金（愛称：アグリま～る） 【金　　額】100 万円以内 【資金使途】組合員の営農および生活改善のための必要資金 【期　　間】２年以内 【金　　利】5.60%（固定金利） 【担　　保】原則として無担保・無保証
3　成果（効果）	・平成 21 年度の取扱実績は，取扱件数 207 件，実行金額 150,640 千円となっております。
4　今後の予定（課題）	・引き続き当該資金を活用して，農家の小口資金ニーズに対応していく予定です。

タイトル　とくしま経済飛躍ファンド(農商工連携枠)

ＪＡ名　ＪＡ徳島県信連(徳島県)

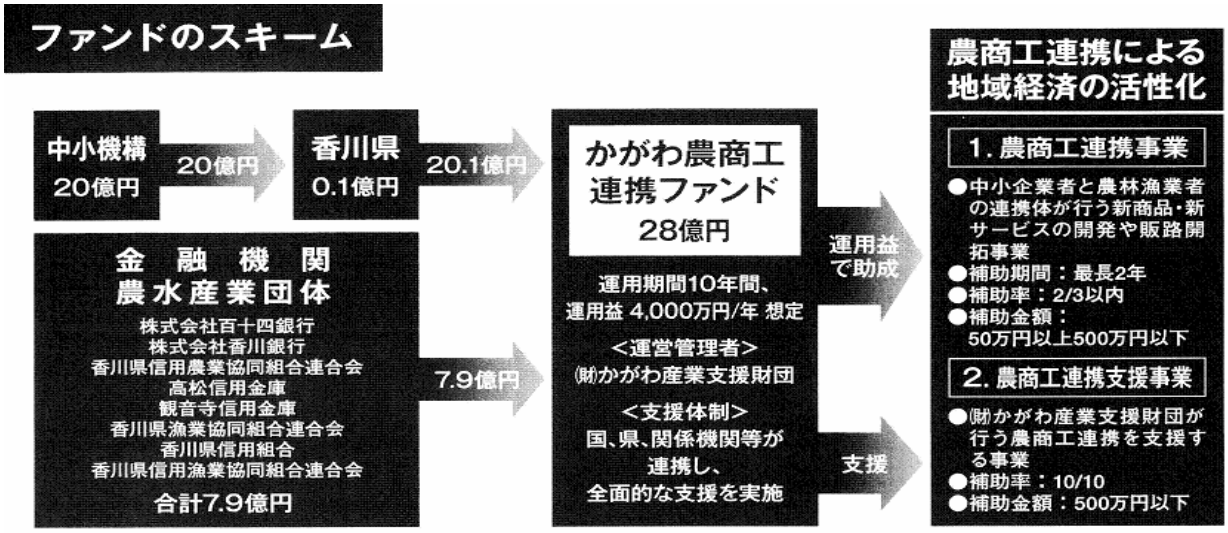
1　動機（経緯）	とくしま経済飛躍ファンドとは，徳島県が 125 億円のファンドとして創設し，創業，経営革新等の県内のがんばる中小企業者等が行う新たな取り組みに対してその経費の一部を助成する事業で，ＬＥＤバレイ推進枠(40 億円)，地域資源活用枠(60 億円)，農商工連携枠(25 億円)を設けています。 　本会としては，当該事業の運営主体である「(財)徳島産業振興機構」に対し，無利子融資(1 億円)を行っております。
2　概要	とくしま経済飛躍ファンド(農商工連携枠)の概要 ・安全で豊かな農林水産物と中小企業の有する優れた技術という，本県の強みを活かした農商工連携体の事業（①「新商品・技術開発支援事業」，②「販路開拓支援事業」，②「農商工連携体支援事業」）に対して，助成を行うことにより地域活性化を図ります。 ・当ファンドの運営主体である「(財)徳島産業振興機構」に対し，徳島県が 20.1 億円（うち 20 億円は「(独)中小企業基盤整備機構」が県に対し無利子融資），地元金融機関が 4.9 億円（うち 1 億円が徳島県信連）の無利子融資を行うものです。
3　成果（効果）	県内の農林水産事業者と中小企業者等が連携する事業を後押しする効果が見込まれます。
4　今後の予定（課題）	平成 22 年度には第 2 回目の「農商工連携枠」事業案を募集しております。



タイトル　かがわ農商工連携ファンド

ＪＡ名　ＪＡ香川県信連（香川県）

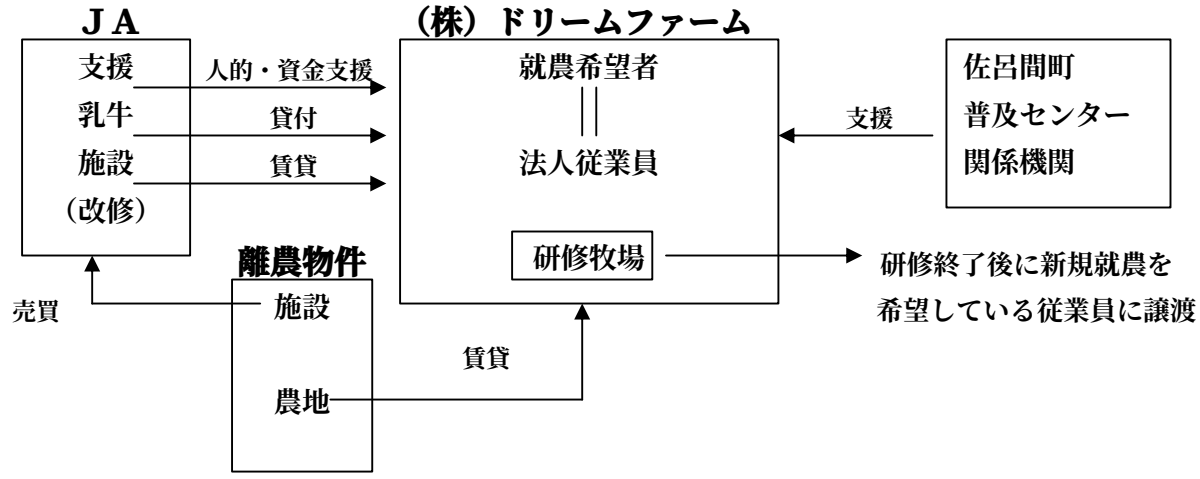
1　動機（経緯）	「農商工連携促進法」が平成 20 年７月に施行され，中小企業者と農林漁業者が連携した取り組みを支援するための制度が創設されたことに伴い，地域金融機関として公共的な融資事業の一翼を担えること，および県域における社会的な貢献の色彩が濃いこと等から，平成 21 年７月，財団法人 かがわ産業支援財団へ 10 年間低利で貸付を行いました。
2　概要	かがわ農商工連携ファンドは，総額 28 億円（内訳：国 20 億円，県１千万円，他行５億９千万円，当会２億円）で主に国債および地方債で運用を行い，その運用益を補助対象事業者に補助しようとするものです。 補助対象事業者からの申請受付については，ファンドを管理している? かがわ産業支援財団が，定期的に募集期間を設けて行っており，県内の中小企業者と農林漁業者が連携して県産農林水産物を活用しながら，創意工夫を凝らして取り組む事業に対し助成を行っています。
3　成果（効果）	ＪＡバンクの基盤である県内の農林水産事業者と中小企業者が連携する事業の後押しが期待され，県内の農林水産事業者が少しでも元気になればと願っています。
4　今後の予定（課題）	平成 22 年度の募集期間は，平成 22 年４月 26 日（月）～平成 22 年６月４日（金）となっており，今年度の受付けは終了しましたが，平成 31 年度まで毎年受付が行われる予定です。



タイトル　　新規就農者研修牧場

ＪＡ名　ＪＡサロマ（北海道）

1　動機（経緯）	・新規就農の受入れにあたり，公社営農場リース事業を活用していましたが，年間の枠が限られていること，当事業には様々な制約があること等から独自で新規就農希望者の受入態勢を整えることとなりました。 ・また，当ＪＡ管内には適当な研修受入先がなかったため，ＪＡが研修農場の意味合いを持つ法人として平成 20 年に(株)ドリームファームを立ち上げました。
2　概要	・施設等一式は離農者からＪＡが買上・改修し，法人に賃貸する方式をとっています。また，就農希望者は研修期間中の概ね２年間，法人の従業員として雇用されています。 ・研修終了後に農場を就農希望者に譲渡し，新規就農者として営農を開始します。 ・法人の構成員にはＪＡ理事が就任しており，営農技術等の指導を就農希望者である従業員に行う体制をとっています。 ・ＪＡは法人設立の際に助成や資金支援等を行い，さらに就農希望者が法人の施設を取得する際に資金対応等の支援を行っています。
3　成果（効果）	・研修期間中に営農技術等のみではなく，就農予定地で研修を行うことにより，地域との関わりをより深めることができています。 ・平成 22 年 3 月に当法人で研修していた従業員が初めて新規就農者として営農を開始しています。
4　今後の予定（課題）	・従業員の営農開始時に施設等を譲渡しているため，法人としての活動は行っていない状態ですが，新たに就農希望者がいるため，平成 22 年 10 月に法人活動を再開できるよう取り進めているところです。



タイトル「第３回 農業法人経営者セミナー」

ＪＡ名　ＪＡ新潟県信連（新潟県）

１　動機（経緯）	ＪＡバンク新潟では担い手支援策の一環として，平成１９年度より「農業法人経営者セミナー」を開催しております。平成２０年３月末における県内の農業生産法人は５８８先でしたが，平成２２年３月末では６４１先と２年間で５３先増加しており，今後も増加していくものと思われます。 こうした中において，①新潟県の基幹産業である「農業」に関わる農業専門金融機関として県内農業の担い手として活躍されている農業法人の一層の発展に貢献すること，②ＪＡの担い手金融リーダーおよび農業融資相談員と農業法人の関係を密接なものとするための交流の場の提供，③農業法人経営者の方々にタイムリーかつ有効な情報を提供することの３点を目的に当該セミナーを開催しています。
２　概要	テーマ：農業マーケティング 演　題：「実践型農業マーケティングと農商工連携について」 ～地域内機能連携６次産業のすすめ～ 講　師：マーケティングプロデューサー　平岡　豊 氏 内　容：農業におけるマーケティングの手法と農商工連携の必要性，全国で取組まれた優良事例の紹介等。
３　成果（効果）	・参加者数：１２７名 法人組織：４９組織（６４名）※農業法人，当会取引先一般法人 ＪＡ　　：１５ＪＡ（４１名） 関係団体：　５団体（２２名）※県連，商工会連合会等 ・アンケート結果は９割以上から満足とされる回答を受けると共に，次回も参加したいとの要望がありました。
４　今後の予定（課題）	農業法人への取組みについては，担い手金融の重要な取組みの１つと位置付け，引き続き県内農業法人の安定経営に寄与できるテーマを提供すべく，本セミナーを継続開催していく方針です。

タイトル　最近（近年）石油高騰の影響により生産資材の著しい高騰から営農に支障をきたした専業農家への緊急対策資金の対応

ＪＡ名　ＪＡ甘楽富岡（群馬県）

1　動機 （経緯）	（目的） 緊急営農対策資金の対応については，平成１９年１２月１日から実施し，３年目になります。 1　最近（近年）の石油高騰の影響により，生産資材の著しい高騰から営農に支障をきたした専業農家へ緊急対策として，低金利の資金を融通することを目的とします。 2　この資金の貸出対象者は，正組合員である専業農家などです。
2　概要	（運用方法） 1　購買未収金の大口取引先(概ね５００万円以上)に対して証書化を図るために運用します。 2　証書化を図る大口専業農家は，要領の目的に則した先に限定します。 3　証書化を図る際には購買未収金基本契約書を締結し,極度額設定を行います。 4　原則として，平成２３年５月末日以降の借換えの場合には，返済計画書の提出と家計費管理等を伴うこととします。 （貸出期間） 5　この資金の期間は,平成１９年１２月１日より平成２３年５月末日とします。 （貸出形式） 6　証書貸付とします。 （償還方法） 7　次のいずれかの方法とします。 （１） 元金均等償還（最終回しわ寄せも可とします） （２） 元利均等償還（最終回しわ寄せも可とします） （３） 期日一括償還（利息は月払いとします） ただし,償還方法については返済計画等を十分協議の上,決定します。 （貸出利率） 8　固定金利で，２．２５％とします。（購買未収金金利の５０％） （担保及び保証） 9　必要に応じて，物的担保及び連帯保証人をお願いすることとしています。
3　成果 （効果）	・　購買未収金の大口取引先(概ね５００万円以上)に対して証書化を図り，特に畜産農家で大家畜・養豚経営の償還が困難な借入金を長期・低利の資金に一括で借り換えることにより，経営の維持と安定を図りました。 ・　さらに，畜産経営維持緊急支援資金（国の制度資金）に振り替えることにより，組合員農家の経営支援（毎回返済金額の軽減および利息負担軽減）につながりました。 ・　なお，この緊急営農対策資金は，平成２２年２月末現在で案件数２２件，金額にして５２１百万円の実績となっています。
4　今後の予定（課題）	・　資金の円滑な償還促進に努めてまいります。 ・　組合員農家の経営管理に努めてまいります。

タイトル　H21 経営緊急対策資金の創設

ＪＡ名　ＪＡ長崎せいひ（長崎県）

1　動機（経緯）	畜産飼料及び肥料等生産資材の高騰及び農産物の価格低迷による経費負担はさらに増大し，農家の自助努力も限界にきているなかで，農業収入は大幅な減収を見込まざるを得ない状況となっています。このため，担い手等組合員農家の農業経営安定のために農家支援特別対策事業の一環として，低利の資金での融資対応を実施したものです。 ※農家支援特別対策事業：経営悪化に苦しむ生産者の負担を少しでも軽減するためにＪＡにて独自対策を実施しているもの。①農業用燃料対策，②畜産経営継続対策，③肥料高騰対策，④果樹拡大対策，⑤猪等対策の 5 項目を柱としている。
2　概要	資金名　H21 経営緊急対策資金 融資対象者　当組合の正組合員 資金使途　原油・飼料及び資材等の価格高騰対策のための農業経営の改善を行うために必要とする運転資金 融資限度額　10,000 千円以内（千円単位） 融資期間　10 年以内（うち，据置期間は 2 年以内） 貸付利率　1.00%（固定金利） 担保・保証　長崎県農業信用基金協会の債務保証，またはこの組合が認めた保証人 2 名 償還方法　毎月償還，年 2 回償還，年 1 回償還 取扱期間　平成 21 年 11 月 1 日　～　平成 22 年 10 月 31 日
3　成果（効果）	実行件数　55 件 実行金額　125 百万円 原油・飼料及び資材等の価格が高騰し，農家経営が逼迫する状況下において低利の資金を迅速に対応したことにより，農業者から喜ばれ，農家経営の安定化の一端を担いました。
4　今後の予定（課題）	現段階では，平成 22 年 10 月末までの取扱の予定であり，取扱継続については経済状況，農業者の意見等を考慮し，判断することとしています。 また，当ＪＡでは農家支援特別対策事業の取り組みとして，担い手等組合員農家の農業経営安定のために，低利の資金での融資対応を行う態勢があり，今後も必要に応じて同様の資金にて対応することとしています。

タイトル　「ちゃぐりんキッズクラブ」

ＪＡ名　ＪＡ東びわこ（滋賀県）

１　動機（経緯）	「ＪＡ食農教育プラン」を基に，次世代を担う子供たちに，ＪＡと地域が一体となり，人権・環境を考え学び，食のあり方・農のあり方を伝えていくことを目的に，「ちゃぐりんキッズクラブ」の活動を展開しています。
２　概要	「ちゃぐりんキッズクラブ」は，ＪＡ管内２７の小学生を対象として，社団法人家の光協会発行の「いのち・自然・食べ物・健康・農業の大切さ」を小学生向けに伝える雑誌「ちゃぐりん」をテキストとして活用し，食と農などに関する学習をして理解を促進するための様々な活動を行っています。（１・２年　年２回　３・４年　年１１回　５・６年　年３回）
３　成果（効果）	「ちゃぐりんキッズクラブ」の活動を通じて，子どもたちに食のあり方，いのちの大切さを学び，感謝の気持ちを持つこと，ものを大切にすることなどの感性豊かな育成に貢献しています。 また，次世代対策として，ＪＡを理解し農業へ興味をもてる活動（農作物を作る楽しさ）や，ＪＡとの信用・共済・経済の各事業等の取引拡大に繋げています。（信用事業では，お金の大切さ，共済事業では，交通事故等の怖さ，経済事業では，Ａコープ商品の利用や旅行事業の利用など）
４　今後の予定（課題）	ＪＡは総合事業であり，組合員・地域住民の方々にすべての事業の利用を呼びかけ，ＪＡ事業の展開に地域一丸となって取組んでいくことが課題であります。 今後は，地域密着型の地産地消による農業の発展と地域活性を目指していきます。 信用事業におきましては，ＪＡバンクとして教育資金の定期積金やローンの充実を図り，心豊かな子どもたちの成長を応援していきます。

【写真】ＪＡ本店見学

【写真】マコモタケ植え

タイトル　「キッズくらぶ」の取組み

ＪＡ名　ＪＡならけん（奈良県）

1　動機（経緯）	次世代を担う小学生を対象に農業，スポーツ，食育などをテーマにし，楽しい体験イベントを開催，ＪＡと親しみながらＪＡを理解してもらう環境づくりを目指して発足し活動しています。 また同時に，若年層のご両親に対してもＪＡをアピールするとともに顧客基盤拡大を図っています。
2　概要	「キッズくらぶ」は会員制で，会員資格はＪＡ定期積金（毎月 5,000 円以上）にご契約していただき，キッズくらぶ会員に加入申込みいただいた小学生です。 「笑顔で新しい友達づくり。安心できる農の大切さを体験」をテーマにした各種イベントや特典を実施しています。
3　成果（効果）	会員数は，平成 22 年 3 月末現在 3,784 人となっており，毎年順調に会員数は増加しています。 平成 21 年度は，のどか村収穫体験を開催し総勢 351 名の参加があり，また各地区においても稲刈り，芋ほり，イチゴ狩り等収穫体験を行い，ご好評をいただいています。 他では体験できないＪＡらしさを充分アピールすることができました。
4　今後の予定（課題）	平成 22 年度は，会員数 4,000 名を目指しており，ＰＲ活動をさらに強化ししていきます。 収穫体験等は継続的に行い，ＪＡバンク食農教育応援事業ではより幅広い活動を実施し，ＪＡにより親しみを持っていただけるよう取組みを実施してまいります。

タイトル　子育て応援定期積金

ＪＡ名 ＪＡバンク千葉（千葉県）

１　動機（経緯）	少子化が進展するなかで，地域の子育て世帯を金融面から支援し，地域貢献を図ることを目的として，入学シーズンにあわせた４月から５月に限定し，子育て応援定期積金の取扱いを行いました。
２　概要	原則，１８歳未満のお子様をお１人以上養育されている扶養者でかつその扶養者とそのお子様との住所が同一である世帯の方を対象に，平成２１年４月および５月を販売期間として，金利を上乗せした定期積金を取扱いするとともに，粗品（再生紙キッチンペーパー30 枚入り＆スライドジッパー5 枚入り）を進呈いたしました。 なお，詳細な商品性（上乗金利や対象となる世帯等）は，ＪＡにより異なっております。
３　成果（効果）	県下１７ＪＡ（一部ＪＡでは取扱なし）が子育て応援定積を販売した結果，合計で１，３３２件　総契約額１，４８０百万円の取扱いとなりました。
４　今後の予定（課題）	平成２０年度より期間限定商品として取扱いを行っておりますが，平成２２年度も地域の子育て支援に向けて取扱いを継続しております。

タイトル「ほほえみ」定期積金

ＪＡ名　ＪＡみなみ信州（長野県）

1　動機（経緯）	澄んだ水と緑豊かな飯田市，下伊那郡地域は，お菓子屋さんをはじめたくさんの飲食店他やお店があります。 昨今の厳しい経済環境の中，お互いに地域発展を願う各種お店とＪＡが提携を結びました。 その提携加盟店では，定期積金契約期間中は何回でも割引・優待サービスが受けられます。
2　概要	各種店舗を気軽に，有利に，夢いっぱいとなるように，利用するための定期積金です。 ・定期積金「ほほえみ」 ・毎月 10,000 円以上を 1 口とします。 ・契約期間　5 年間 ・契約者に飯田・下伊那の各店舗割引利用券を交付します。 ・提携加盟店 （和洋菓子店，飲食店，美容室，エステサロン，自動車学校，映画館他）
3　成果（効果）	平成 22 年 3 月末現在，多くのお客様に喜んでご利用いただいております。 提携加盟店　68 店舗 契約件数　3,230 件 契約金額　23 億 1 千万円
4　今後の予定（課題）	毎年 1 回，提携加盟店と提携・ＰＲ内容見直しを行い，年 2 回管内組合員宅へ，パンフレットを配布いたします。 今後も地域の皆様のために，提携加盟店と連携をとっていきます。

「ほほえみ」定期積金（長野県）ＪＡみなみ信州

タイトル　平成 21 年度秋冬キャンペーン

ＪＡ名　長野県ＪＡバンク（長野県）

1　動機（経緯）	「地産地消」や「地域に根ざしたＪＡバンク」をテーマに,「ＪＡらしさ」を追求した取組みとして，平成 21 年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて，長野県内の農畜産物を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow 風土」（スローフード）を発売しました。
2　概要	キャンペーン名：長野県ＪＡバンク 2009 秋冬キャンペーン 商品名：懸賞品付定期貯金「Slow 風土」 ～～信州の食を楽しもう。抽選で「信州の食」プレゼント～～ キャンペーン期間：平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 29 日 商品概要：・預入期間１年以上のスーパー定期または大口定期貯金 ・50 万円を一口として抽選券を付与 ・当選賞品は，長野米をはじめとした，県内農畜産物から選択 ・期間中ご契約いただいた方にトートバックをプレゼント
3　成果（効果）	お申し込み実績で県下 28 千件，400 億円を超えるなど，大変ご好評をいただきました。
4　今後の予定（課題）	アンケート調査でいただいたご意見等を反映し，季節に応じた商品を適時にご提供するなど，商品性の見直しを行い，さらに身近にＪＡバンク，ＪＡらしさを感じていただける商品として企画してまいります。

JAバンク

地域密着型金融の取組事例 2010 年 10 月

タイトル 子育て支援の取組み（ＪＡあすなろ積金）

ＪＡ名　ＪＡくろべ（富山県）

1　動機 （経緯）	地域に根ざした金融機関として，地域の将来を担う若い世代の子育てを応援したいとの想いから，10 年ほど前に取扱いを開始しました。
2　概要	○ 取扱期間は平成 21 年 3 月 1 日から平成 22 年 2 月 28 日まで ○ ご利用いただける方は，お子様をお持ちの方（保護者） ○ 積立方法は，口座振替のみ ○ 積立期間は，3 年，4 年，5 年 ○ 給付金※としての契約可能額は，30 万円から 110 万円の範囲内 ※　積立金の累計額に利息見合いの給付補填金を加えたもの ○ 店頭表示金利に 0.1%の金利上乗せを実施
3　成果 （効果）	○ 取扱い開始以来，利用者には当商品の意義を感じていただき，好評をいただいております。（顧客満足度の向上） ○ ＪＡ内でも，子育てをする若い世代をサポートすることに対する職員の意識が高まるとともに，この取組みをきっかけに他の金融サービスの提供につながる場合もあり，顧客基盤の拡充やサービス提供能力の向上にも資する結果となっています。
4　今後の 予定(課題)	○ 地域の子育て支援のため，当該商品の取扱いを継続する予定です。 ○ 利用者の多くは卒業・入学シーズンに取組まれるため，メリハリをつけるためにも，取扱いを卒業シーズンに限定することも検討したいと思います。 ○ また，利用の拡大に向け，地域に対し一層の周知を行いたいと思います。

JAバンク

地域密着型金融の取組事例 2010 年 10 月

タイトル 子育て支援の取組み（学資定期積金）

ＪＡ名　ＪＡくろしん（富山県）

1　動機 （経緯）	地域に根ざした金融機関として，地域の若年層とのつながりを深め，金銭的な負担の大きい若年層の子育てを金融面からサポートする目的で，5 年ほど前に取扱いを開始しました。
2　概要	○ 取扱期間は平成 21 年 3 月 2 日から平成 21 年 5 月 31 日まで ○ ご利用いただける方は，中学校卒業時までのお子様をお持ちの方（保護者） ○ 積立金額は，月額 50,000 円以内 ○ 積立方法は，原則，口座振替 ○ 積立期間は，2 年，3 年，4 年，5 年 ○ 店頭表示金利に 0.1%の金利上乗せを実施。さらに，ＪＡの子供共済にご加入されている場合は，追加で 0.1%の金利上乗せを実施（合計で+0.2%）。 ○ 原則，定期積金の満期時に 1 年定期貯金へ預け替え。その際，1 年定期貯金の店頭表示金利に積立期間に応じた金利上乗せを以下のとおり実施。 積立期間：　2 年　3 年　4 年　5 年 上乗せ金利：　0.2%　0.3%　0.4%　0.5%
3　成果 （効果）	○ 利用者からは好評をいただいております。（顧客満足度の向上） ○ また，ＪＡのイメージアップにつながるとともに，ＪＡ職員の地域貢献に対する意識，若年層の子育て支援に対する意識も高まりました。
4　今後の 予定(課題)	○ 好評につき，当該キャンペーンの取扱いを継続する予定です。 ○ また，今後は利用者満足度のより一層の向上を目指し，1 年定期貯金が満期となった後も継続的に子育て支援を行えるような施策を考えたいと思います。

JAバンク

地域密着型金融の取組事例 2010 年 10 月

タイトル 年金指定者等に対する民宿等利用券提供

ＪＡ名　ＪＡ氷見市（富山県）

1　動機 （経緯）	地域に根ざした金融機関として，定年退職や年金受給を迎えた方々に，地元の温泉と美味しい食事でこれまでの疲れを落とし，元気に第 2 の人生をスタートしていただくことを目的とし，7～8 年前から取扱いを開始しています。 また，氷見は旅館・民宿業が盛んな地域のため，長引く景気低迷下で頑張っている地元の旅館・民宿を応援することにより地域経済を活性化し，氷見を元気にすることも，当該キャンペーンの目的としています。
2　概要	○ 募集期間は平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで ○ 対象となるのは，以下のいずれかに該当する方 年金　平成 21 年 1 月 1 日以降，新規に公的年金※の振込口座を当ＪＡにご指定いただき，かつ 1 回に 10 万円以上お振込の方 ※　既に受給中で他の金融機関から振込口座を変更される方，障害年金や遺族年金は対象外 退職金　55 歳以上かつ直近 3 ヵ月以内に退職金をお受取りになられた方で，300 万円以上を定期貯金（期間 1 年以上）にお預入の方 ○ 年金ご指定の方には，氷見市内の旅館・民宿で使えるご利用券 1 万円分を進呈 ○ 退職金をお預入の方には，旅館・民宿ご利用券 1 万円分に加え，店頭表示金利に 0.1%の金利上乗せを実施 ※　旅館・民宿ご利用券は，ＪＡ観光ご利用の場合のみ有効 ※　金利上乗せは，当初預入期間のみ有効
3　成果 （効果）	○ 取扱い開始以来，利用者からは好評をいただいております。利用券のほぼ全てが実際に使用され，地元の旅館・民宿業者の方からも感謝されており，地域経済の活性化に貢献できていると感じています。 ○ また「ＪＡは地域に根ざした金融機関である」との職員の意識も高まりました。
4　今後の 予定(課題)	○ 好評につき，当該キャンペーンの取扱いを継続する予定です。 ○ また，利用者の満足度向上やより一層の地域貢献を目指し，今後はさらなる施策を考えていきたいと思います。

ご利用券進呈の対象となるお客様

☆「年金について」

◎対象⇒平成２２年１月１日以降に初めて「国民年金」、「厚生年金」、「各種共済年金」等の公的年金をお受取りになる方。
すでに受給中の方で他金融機関からの変更や障害年金・遺族年金は対象外となります。
◎振込金額⇒初回の振込で１０万円以上の入金を確認後、ご利用券を進呈させていただきます。

※ 請求年齢を迎える誕生月３ヶ月前になると、社会保険業務センターから手続用紙(裁定請求書)が送られてきます。もよりの支所店にご連絡いただければ、手続等のお手伝いをさせていただきますので、なんなりとお申しつけ下さい。

※「JA 年金定期貯金」のご案内
年金のお受取りに当 JA をご指定いただいているお客様を対象に、スーパー定期１年もの店頭表示金利に上乗せしてご提供いたします。お一人につき３００万円まで!!

☆「退職金について」

◎対象⇒５５歳以上の方で直近３ヶ月以内に退職金をお受取りになられた方。
◎預入⇒３００万円以上で、期間１年以上のスーパー定期・大口定期貯金にお預けの際、ご利用券を進呈させていただきます。
◎ご利用券は、お一人様１枚に限らせていただきます。
◎お預入の際には「退職金所得の源泉徴収票」などにて確認させていただきます。ご持参いただければ、幸いと存じます。

★ご利用券の有効期限
◎年金、退職金ともども進呈の日から１年とさせていただきます。１年を経過すると無効となりますのでご注意願います。
JA 観光ご利用のみ有効のため、旅館・民宿の手配は支所店窓口担当者がいたします。ご利用日などをお申しつけ下さい。

●ご利用券有効期間中に、年金を他金融機関に変更した場合や退職金定期貯金を中途解約した場合には無効となりますのでご注意願います。

キャンペーン期間：平成２２年１月１日～平成２２年１２月３１日

詳しくはお近くの窓口へおたずねください。

タイトル　エコ対応利子助成（エコ割）

ＪＡ名　ＪＡバンク香川（香川県）

1　動機（経緯）	顧客基盤の拡充策の１つとして，ＪＡバンクローン伸長に取り組むなかで，地球温暖化防止に向けての社会的貢献事業として，政府が掲げている「住宅版エコポイント制度」を活用し，インパクトある施策を実施することにより，県内におけるＪＡバンクの地位を向上させることを目的に制定しました。
2　概要	対象となるＪＡ住宅ローン等の新規資金の借入申込を行い，かつ住宅版エコポイント制度となる住宅の改修･新築を平成 22 年 12 月 31 日までに着手または着工した借入申込者に対して金利を軽減するＪＡを対象に利子助成する取組です。 ・固定金利選択型（３年固定）……当初３年間 0.10%軽減 ・固定金利選択型（５年固定）……当初５年間 0.30%軽減 ・固定金利選択型（10 年固定）……当初 10 年間 0.30%軽減 ・ステップ固定金利型　　……当初 10 年間 0.30%軽減
3　成果（効果）	住宅業者からの評判は良く，新築住宅の８割以上の建築主（借入申込者）が住宅版エコポイント制度の対象住宅を建築しているようです。
4　今後の予定（課題）	政府が掲げている「住宅版エコポイント制度」が，平成 22 年末までとなっており，制度の継続の動向を見極めながら，利子助成の継続についても検討してまいります。